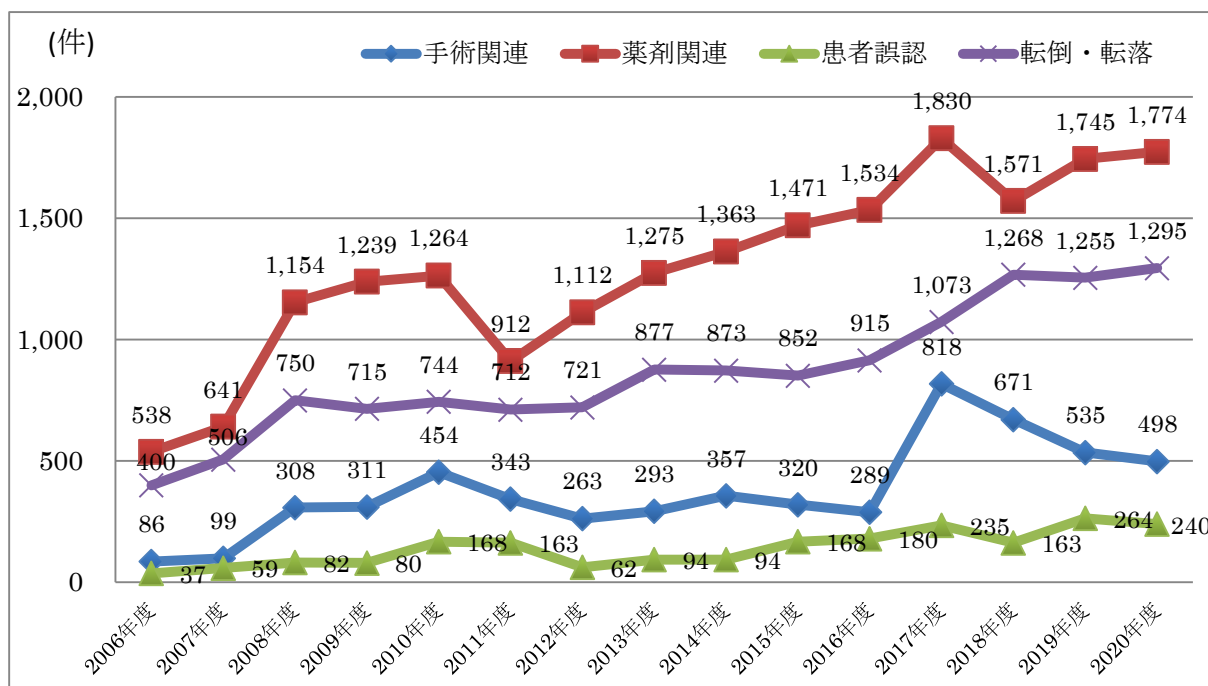


## 15. 安全管理報告における種類別の報告件数



各年度別における事故の種類別件数を示している。毎年薬剤に関連した事故が最も多く、次いで転倒・転落である。また、2018年度より手術関連の報告が増加しているが、病棟から手術室への引き継ぎに関する報告を新たに求めたためであり、手術に関する患者への有害事象が増えてはいない。患者誤認は、情報関連、検査関連、薬剤関連の場面で発生しており、報告は徐々に増加しているが患者への影響度は低いものが大半を占めており、有害事象に至る患者誤認は発生していない。しかし、患者誤認は重大な事故につながりかねない医療事故であり、患者誤認が発生する場面を特定し、統一した業務手順フローを職員に示し改善に取り組んでいる。また、医療安全への患者参加として、患者自身にフルネームや生年月日を名乗っていただく確認方法が浸透しつつあるため、引き続き医療チームの一員としての患者参加を推進していきたい。

データ提供 医療の質・安全対策部 安全管理室